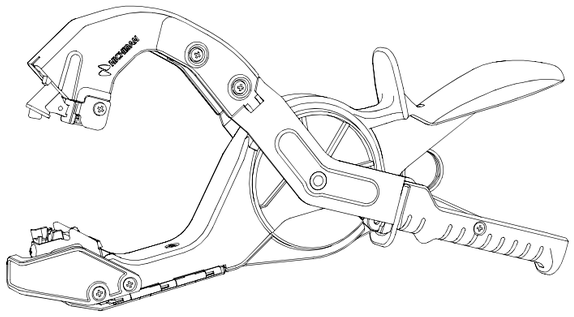
NICHIBAN

針がいらない 誘引結束機

とめたつ™プラス

TMA150

取扱説明書



コンパクトヘッド　ぴったりグリップ　テープ残量が見える

ニチバン株式会社　工業品営業統括部

〒102-8811 東京都千代田区麹町五丁目１番地　お客様相談室　0120-377-218

ホームページ https://www.nichiban.co.jp/

※TM:trademark

SEN25N3XJRM

このたびは**誘引結束機とめたつ™プラス TMA150**をお買い上げいただきありがとうございます。
使用前に必ず、本説明書を最後までよくお読みください。本製品を正しく安全にお使いいただくために、記載されている注意事項・使用方法をお守りください。
ご不明な点は、お買い上げのお店か弊社営業担当者にご相談ください。
尚、修理や部品購入につきましてはお買い上げのお店にお問い合わせください。
お買い上げのお店がご不明な場合は弊社機器部品センターにて承ります。

機器部品センター　03-6311-7468

■内容物

とめたつ™プラス TMA150 本体……1台
テープリール……2個
取扱説明書……1部

ご使用の際は、専用のとめたつ™テープをお求めください。

最新の製品情報はこちらから

https://www.nichiban.co.jp/industrial/tometatsu/

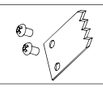
■仕様

商品名	とめたつ™プラス
品番	TMA150
寸法	全長304mm×高さ145mm×厚さ34mm
質量	約325g
結束径	最大φ45mm

■交換部品

※交換部品のお求めは、本体の購入先にお問い合わせいただき、必ず**品番**をご指定の上、お買い求めください。

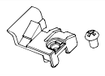
商品名	カッター刃（取付けネジ同梱）
品番	**TMA100-KH**



商品名	テープリール
品番	**TMA100-TR**

商品名	圧着ゴム150
品番	**TMA150-AG**

商品名	テープ案内板150（取付けネジ同梱）
品番	**TMA150-G2**



商品名	加圧板（取付けネジ同梱）
品番	**TMA150-PP**

1 安全にお使いいただくために

■表示について

本説明書では、本製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するため、次の表示をしております。

⚠注意　取扱いを誤った場合に、ケガや財産に損害を受ける恐れがあるものを示します。

⚠注意

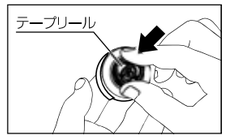
- 使用前は必ず正常に動作するか確認してください。正常に動作しない場合は決して使用しないでください。
  太い枝、重い作物等では十分な結束ができない場合があります。
- 高所・不安定なところに置かないでください。本体の落下により、ケガ、本体の故障、破損の恐れがあります。
- 高温多湿・直射日光があたる環境下に長時間放置しないでください。プラスチック部分が変形・劣化し、故障・破損の原因となります。特に、透明パーツは変色が目立つ場合があります。
- 子供の手の届かないところに安全に保管してください。
- 可動部分には注油しないでください。樹脂の劣化の原因となります。
- 各種クリーナー等に含まれる薬剤も樹脂の劣化の原因となる恐れがあるため、使用をお控えください。汚れた場合は固く絞った布等で水拭きしてください。

動画による使い方の説明はこちらから

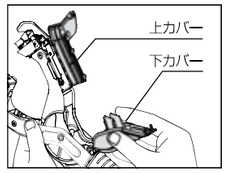
https://www.nichiban.co.jp/industrial/tometatsu/tma150/

2 テープのセット方法

❶ **とめたつ™テープ**を付属のテープリールに取り付けます。



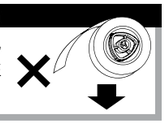
❷ 上カバーを開けてから、下カバーを開けます。

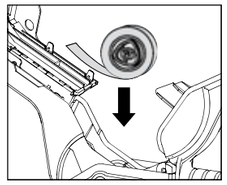


❸ **テープリールを取付けたテープを粘着面が上を向くようにセットします。**

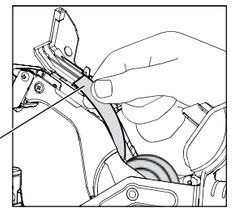
テープの向きに注意

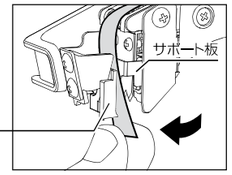
粘着面を下にしてセットした場合、機器が正常に動作しません。

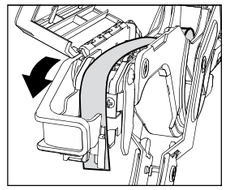




❹ テープを引き出しテープカバーの経路に通し、カット部前面の**テープ案内板（黄色）とサポート板（金属）の間に**テープを通します。





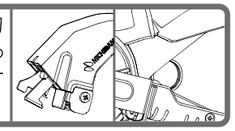


❺ 下カバーを閉じます。
その後、上カバーをパチンと音がするまで閉じます。その際、テープを上カバーで挟まないように注意してください。

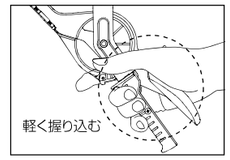
カバーを閉じる際は、指を挟まないようご注意ください。

3 結束の仕方

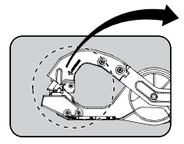
⚠注意　グリップの間のバネやピンチ刃の間に指を入れたり、物を引っかけたりしないでください。ケガや故障の原因となります。

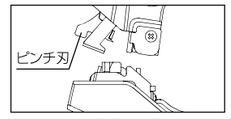


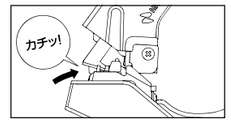
❶ テープをセットしたら、グリップを軽く握り込みます。



❷ カチッと音がしてピンチ刃がテープに食い込みます。

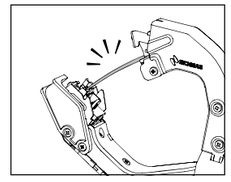






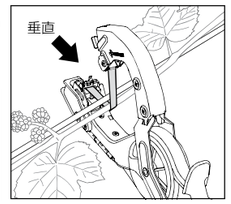
❸ ピンチ刃がテープに食い込んだ状態で、握りを緩めてグリップを元に戻すと、テープが引き出されます。

最後までグリップを握り込むと、テープからピンチ刃が外れて、テープが引き出せません。

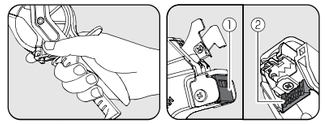


❹ 結束物にテープをあてがい、結束したい長さまで本体を押し込みます。

押し込むときは、結束物に対して垂直に押し込んでください。斜めに押し込むと、テープが切れない場合があります。

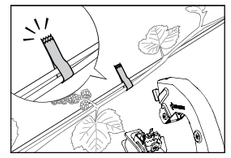


❺ グリップを握り込みます。カチャンと音がして、テープをカットしたあとも、押し込むように握り込んでください。握り込むことで粘着面同士がしっかり貼り付きます。



上アゴ①と下アゴ②でテープを押さえつけるように握ってください。

❻ 握りを緩めてグリップを元に戻してください。
テープ同士が貼り付いて結束されていることを確認してください。



❼ 続けて作業する場合は、❶～❻をくりかえします。

2枚以上のテープを重ねてカットすると、刃の破損・本体の故障の原因となる場合があります。

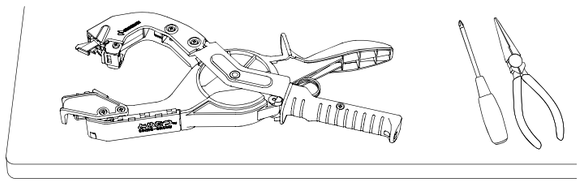
4 カッター刃の交換

⚠ 注意

- 必ず**とめたつ™専用のカッター刃**をご使用ください。
- カッター刃の抜き取り、取付の際は素手で行わず、ラジオペンチ等、刃をつまむことができる工具を使用してください。
- カッター刃には絶対に指を当てないでください。ケガの原因となります。

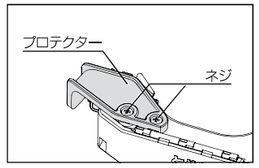
- 使用後はアルコール等で刃先についた汚れをふき取った上で保管してください。
- 使用時にテープが切れなくなってきたと感じたら、新しい刃と交換してください。
- 購入する際は、**TMA100-KH**とご指定の上お買い求めください。
- 取り外した部品は、お住まいの自治体の廃棄方法にしたがい処分してください。

❶ テーブルなどの平らな場所に、下図のように置きます。



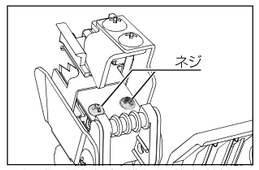
❷ プロテクターのネジを取り外します。

ドライバー



❸ カッター刃のネジを取り外します。

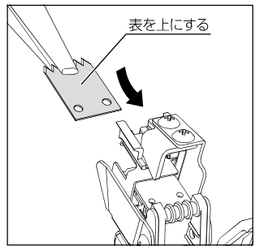
ドライバー



※カッター刃とネジの紛失にご注意ください。

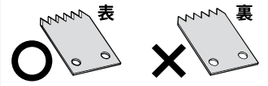
❹ 新しいカッター刃をネジ穴が合うように置き、上からネジをとめます。

ラジオペンチ　ドライバー



刃の向きに注意

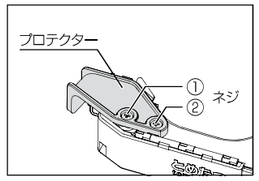
カッター刃を差し込む際は、表が上になるようにしてください。



※刃先に傾きがある面が表です。

❺ 最後にプロテクターのネジを、①②の順にネジを取り付けて完了です。

ドライバー

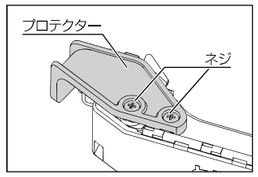


5 テープ案内板・加圧板の交換

- 樹脂にヒビが入ったり、金属部分が磨り減ってきたりした場合は、新しい部品と交換してください。
- 購入する際は、テープ案内板は**TMA150-G2**、加圧板は**TMA150-PP**とご指定の上、お買い求めください。
- 取り外した部品は、お住まいの自治体の廃棄方法にしたがい処分してください。

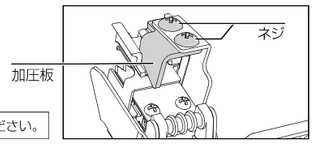
❶ プロテクターのネジを取り外します。

ドライバー



❷ 加圧板のネジを取り外します。

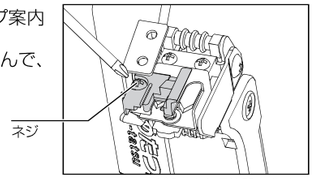
ドライバー



※加圧板の交換の場合、❻に進んでください。

❸ 細いドライバーを使ってテープ案内板のネジを取り外します。
ドライバーを少し斜めに差し込んで、回してください。

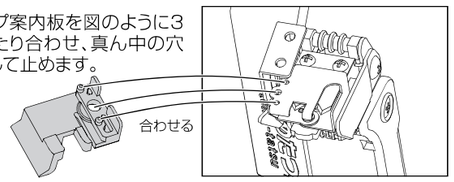
ドライバー



※ネジの紛失にご注意ください。

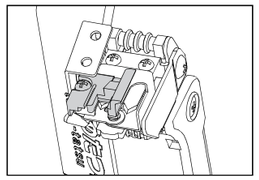
❹ 新しいテープ案内板を図のように3箇所をぴったり合わせ、真ん中の穴にネジを通して止めます。

ラジオペンチ



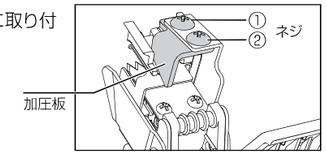
❺ テープ案内板を取り付けると、図のようになります。

ドライバー



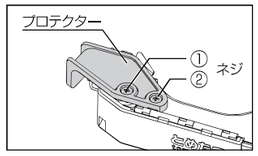
❻ 加圧板のネジを、①②の順に取り付けます。

ドライバー　ラジオペンチ



❼ 最後にプロテクターのネジを、①②の順にネジを取り付けて完了です。

ドライバー

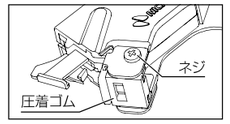


6 圧着ゴムの交換

- 快適にご使用いただくために、圧着ゴムのお手入れをおすすめします。固く絞った布等でゴム表面を水拭きし、表面についたゴミや汚れを落としてください。
- 圧着ゴムの角が磨り減ってきたり、汚れがひどくなった場合は、新しい圧着ゴムと交換してください。
- 購入する際は**TMA150-AG**とご指定の上、お買い求めください。
- 取り外した部品は、お住まいの自治体の廃棄方法にしたがい処分してください。

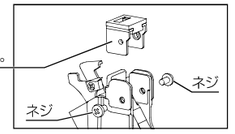
❶ 圧着ゴムを固定しているネジを外します。

ドライバー



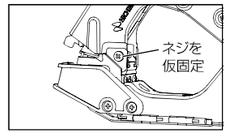
❷ 反対側のネジも外すと、圧着ゴムが取り外せます。

ドライバー



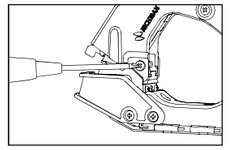
❸ 新しい圧着ゴムを取り付け、ネジ2個で仮固定します。仮固定の為、圧着ゴムが動く程度が目安です。

ドライバー



❹ グリップを握り込んで圧着面を平行にした状態で、ネジをしっかりとしめてください。これで圧着ゴムの交換は完了です。

ドライバー



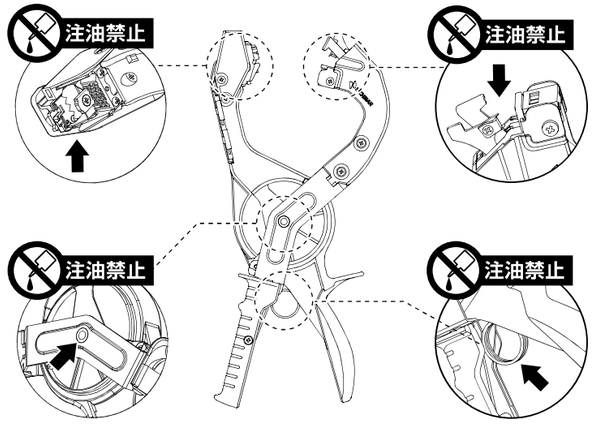
※ネジの紛失にご注意ください。

7 使用後の保存方法

⚠ 注意

使用後は必ずテープを本体から抜き取り、本体・テープそれぞれの箱に戻して冷暗所に保管してください。テープをセットしたまま長期間放置したり、高温多湿・直射日光があたる環境下に長期間放置すると、本体・テープが劣化し、本体の故障や、テープが使えなくなる場合があります。

- 本体には注油しないでください。樹脂の劣化の原因となったり、グリースが流れ出たりする等、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- 汚れた場合は、固く絞った布等で水拭きしてください。
各種クリーナー等に含まれる薬剤も樹脂の劣化の原因となる恐れがあるため、使用をお控えください。



8 故障かな?と思ったら

結束できない

■ テープが逆にセットされていませんか?
2「テープのセット方法」をもう一度ご確認ください。

テープを引き出せない

■ グリップを最後まで握り込んでいませんか?
3「結束の仕方」❸ をもう一度ご確認ください。

■ テープリールを取り付けましたか?
2テープのセット方法❶をもう一度ご確認ください。
テープリールを取り付けないとテープを引き出せません。

■ テープは正しくセットされていますか?
2「テープのセット方法」❹をもう一度ご確認ください。
テープを通す位置が間違っているとテープを引き出せません。

テープが切れない

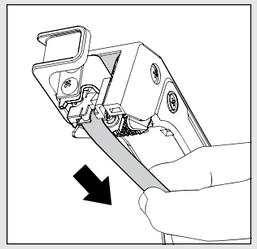
■ グリップを最後まで握り込んでいますか?
3「結束の仕方」❺ をもう一度ご確認ください。

■ カッター刃の切れ味が悪くなっていませんか?
4「カッター刃の交換」をご確認の上、新しいカッター刃と交換してください。

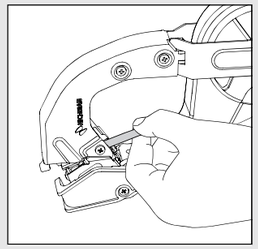
■ カッター刃が逆になっていませんか?
4「カッター刃の交換」をご確認の上、刃を再装着してください。

テープがからまった

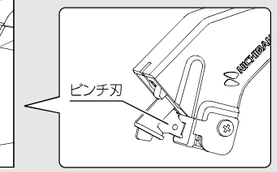
■ そのままでは確実な結束が難しい場合、まず枝・葉などにからまったテープをハサミなどで切り離します。そして(1)正常な粘着面までテープを引き出し、(2)テープをカットします。その後、あらためてテープをセットし直してください。



(1)からまっていない部分(余った部分)を図のように引き出します。



(2)持ったままカットします。



ピンチ刃が下りていない場合は、(2)の前にピンチ刃を下ろしてください。